



【所在地】岡山県倉敷市鳥羽 283【HP】<https://kurashiki.ac.jp>

【校長】守屋 孝治

【発行】倉敷高等学校入試広報部 平成 29,4,20

## 期待に胸を膨らませ

### 平成二十九年 第五十八回入学式挙行

新入生代表として誓いの言葉を述べた小川祐太朗くん(倉敷市立福田中学校出身)



四月十日(月)、心配された天候にも恵まれ、桜が咲き誇るなか、平成二十九年第五十八回入学式が挙行されました。

本年度は三六〇名の新入生を迎えることができ、いよいよ全学年がそろうこととなりました。新入生代表として小川祐太朗くん(倉敷市立福田中学校出身)が誓いの言葉を述べ、校訓である「英知・誠実・健康」を胸に抱き、常に挑戦する姿勢で成長していくことを誓いました。

入学式後は、各自のクラスに分かれ初めてのホームルームで担任紹介や今後の高校生活についての話がありました。緊張の面持ちの新入生でしたが、徐々に慣れてきたのか笑顔も多く見られ、今後の高校生活に対し、期待に胸を膨らませているようでした。



今後のよりよい高校三年間を送るため、挨拶を大切にしながら「成長に貪欲になってほしい」と伝える守屋校長

## 新入生オリエンテーション

パフォーマンスを披露する書道部の皆さん



四月十一日(火)、新入生を対象としたオリエンテーションが行われました。中学校と異なる点、特に授業についてなど正しい高校生活を送るために必要なことを学びました。

後半には、在校生による部活紹介があり、それぞれが希望する部活動のパフォーマンスの際には目を輝かせていました。

## 新入生と在校生が対面

四月十三日(木)、新入生と在校生が互いに挨拶を交わす対面式が行われました。式では生徒会長の橋本英美里さん(就実中出身)が本校の勉強から部活動、国際交流に至るまで幅広い活動を紹介し、積極的な参加を呼びかけました。また在校生に向けては、新入生のサポートを促しました。



新入生と在校生が向かい合い、大きな声で挨拶を交わしました

## 平成二十九年 第一学期始業式

四月七日(金)、平成二十九年のスタートとなる第一学期の始業式が挙行されました。

体育館には新二・三年生が揃い厳粛な雰囲気の中、退任式、新任式、そして始業式と行われました。式後は、新任のもの新たなクラスでのホームルームとなりました。



またこの日、新しい校舎を生徒は初めて利用するということで、興奮しながらも新たな気持ちで来週からの高校生活を楽しまにしている様子でした。

## 岡山大学 公開講義

昨年度に引き続き、本年度も岡山大学の公開講義に本校の生徒が参加しています。

この公開講義では、岡山県内の高校生を対象に、高校レベルにとどまらない教育を受けることができ、進路への意識づけにもなります。本年度は、特別進学コースの生徒が参加しています。二十年十組の西海由桂さん(岡山市立高島中出身)は「世界の知らないことに多く触れ、学ぶということの楽しさを改めて感じました」と、自身の興味、関心をより追求できる大学の授業に、憧れを強めているようでした。



## 特別講座

二月九日(木)、本校にて高大連携の一貫として関西学院大学より久木田純先生をお招きして、第一回特別講座を開講しました。

テーマは、「グローバルに活躍するために必要なこと」です。自分が生きている間に社会、そして地球に対して何ができるのかという計画を立てることを主に、刺激的な授業をしてくださいました。

## 関西学院大学との連携プログラム

生徒たちには、事前課題として、「人類は二十二世紀を迎えることができるのか」という問いを与えられました。講座では、教えられた内容を踏まえて、それぞれの立場で発表をし、考えを深めることができました。



生徒たちは、未来の衝撃的な事実を知ったことで、今回の講座が自分たちに何ができるのかを真剣に考えるきっかけとなったようでした。

三月二十二日(水)、本校にて特別進学コースの生徒を対象とした第二回特別講座を開講しました。テーマは、「高校生が今のうちにやっておくべきこと」です。講師として、今年度、津田塾大学総合政策学部に進学された古賀要花(こが いるか)さんをお迎えしてお話を頂きました。古賀さんは、若者が政治について考える体験型のイベント「エレフェス」の実行委員会代表を務めるなど、岡山県内での主権者教育の普及に深く関わってこられました。



講座を受けた松本寛輝くん(倉敷市立庄中出身)は「高校生の間にしかできないことがあると学びました。社会に貢献できる活動をしていきたい」と意欲を見せました。